

成果の説明書

(氏名)	中村匡克	(学部)	地域政策学部
1 重要事項 (教育活動) コロナウイルス感染症への対応で遠隔授業となったため、オンデマンド型の講義動画並びにそれに対応する講義ノートを作成した。これにより、動画編集のノウハウが高まったとともに、次年度以降、学生の予習・復習のための教材を用意することができた。 (社会貢献) 吉岡町補助金等審査委員会に座長として出席し、審査結果のとりまとめを行った。 (学会活動) 計画行政学会理事会ならびに学術賞選考委員会に出席した。また、経済政策学会関東部会・幹事会に出席した。			
2 その他の事項 (研究活動) 研究で使用する実証分析のためのデータ収集を行なった。特に、地理情報システム活用のノウハウの形成に時間を費やした。次年度以降、都市構造の実証分析を進めていく予定である。			
3 次年度以降の計画・抱負 教育面では、遠隔授業のために作成した講義動画を予習・復習などに活用しつつ、対面授業の展開を検討していきたい。遠隔・対面どちらも、長所・短所があることがわかったので、次世代の高等教育のあり方というものを模索する必要があると考えている。 研究面では、統計の整備が進んだことによってさまざまなテーマの研究がなされてきていることを踏まえ、地理情報システムを活用するなどして固有のデータを収集し実証分析に使用していく予定である。また、ここ数年続けてきた経済実験も、2020年度はコロナウイルス感染症の影響で実施できなかったため、状況を見ながら再開し必要なデータ収集を続けたいと考えている。			